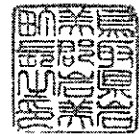




岩受地整第731号
平成20年10月20日

国土交通省道路局長 様

鳥取県岩美郡岩美町長



今後の道路行政についての意見・提案について（回答）

平成20年9月19日付国道企第37で依頼のあったこのことについて、別添のとおり回答します。

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

鳥取県岩美町

本年5月13日の閣議決定で示された道路特定財源に関する基本方針のとおり道路特定財源制度が廃止され、一般財源化されるようなことになれば、道路事業財源の確保が今以上に厳しくなることが憂慮されるところです。

基本方針では、「必要と判断される道路は着実に整備する。」とされていますが、費用便益分析のみによる事業評価がなされた場合、「産業・経済、あるいは保健・医療・福祉など、直接に住民生活に強く係わりのある地方の道路」がはたして「必要な道路」として判断され、整備されるかどうか大きな不安があります。

事業効果の便益算出の際、例えば水産物の流通が、現在「高速道路ネットワークの未整備」のため、価格の安い地元で消費せざるを得なかったものや高速道路ネットワークが既に整備されている岩美町より消費地から遠い他の漁港の水産物より安価で取引をされていたものが、道路整備による輸送時間の短縮によりその付加価値の上がる効果や企業誘致機会の増加などによる地域雇用や地域経済に与える経済効果なども考慮され便益算出されますよう分析方法の見直しをお願いします。

事業着手後、長年にわたり供用開始を待ち望んでいる地方にとりまして、更に供用開始時期が遅れるようなことになれば、その影響はあらゆる部門に大きく、本当に「地方(地方行政)が成り立たない状況」となってしまいます。

是非、事業着手している区間につきましては、事業効果の早期実現を図っていただきたい。

都市部に比べ極端にJR、路線バス等の公共交通機関が未整備で、移動手段として車に頼らざるを得ない地方にとりまして道路整備、とりわけ幹線道路の整備は必要不可欠なものであります。

遅れている状況が、更に遅れることのないよう、「真に必要な道路」の判断にとりわけご留意いただきますよう強く要望いたします。

町内既存の道路施設、とりわけ町道橋として管理している橋りょうの老朽化が激しく、平成18年度に単独費で簡易な点検・診断を実施しましたが、その半数以上が早急な修繕を要するという結果でありました。

町道橋の半数以上が昭和30年代後半から、50年代前半に架けられおり、架橋後、30～50年が経過し、特に鋼製の主桁の支承部に経年劣化による腐食などの損傷が見られるなど、早急な対策を要する状況です。

「長寿命化修繕計画」策定に対する補助に加えて、実際の修繕費用に対する補助につきまして、簡易的な補修についても補助の対象となるようご配慮いただきますようお願いいたします。(長寿命化の程度は各自治体の判断で行い、判断結果により修繕方法を決定できるなど)

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

鳥取県岩美町

本年5月13日の閣議決定で示された道路特定財源に関する基本方針のとおり道路特定財源制度が廃止され、一般財源化されるようなこととなれば、道路事業財源の確保が今以上に厳しくなることが憂慮されるところです。

基本方針では、「必要と判断される道路は着実に整備する。」とされていますが、費用便益分析のみによる事業評価がなされた場合、「産業・経済、あるいは保健・医療・福祉など、直接に住民生活に強く係わりのある地方の道路」がはたして「必要な道路」として判断され、整備されるかどうか大きな不安があります。

事業着手後、長年にわたり供用開始を待ち望んでいる地方にとりまして、更に供用開始時期が遅れるようなことになれば、その影響はあらゆる部門に大きく、本来「地方(地方行政)が成り立たない状況」となってしまいます。

是非、事業着手している区間につきましては、事業効果の早期実現を図っていただきたい。

都市部に比べ極端にJR、路線バス等の公共交通機関が未整備で、移動手段として車に頼らざるを得ない地方にとりまして道路整備、とりわけ幹線道路の整備は必要不可欠なものであります。

遅れている状況が、更に遅れることのないよう、「真に必要な道路」の判断にとりわけご留意いただきますよう強く要望いたします。

町内既存の道路施設、とりわけ町道橋として管理している橋りょうの老朽化が激しく、平成18年度に単独費で簡易な点検・診断を実施しましたが、その半数以上が早急な修繕を要するという結果でありました。

町道橋の半数以上が昭和30年代後半から、50年代前半に架けられおり、架橋後、30～50年が経過し、特に鋼製の主桁の支承部に経年劣化による腐食などの損傷が見られるなど、早急な対策を要する状況です。

「長寿命化修繕計画」策定に対する補助に加えて、実際の修繕費用に対する補助につきまして、簡易的な補修についても補助の対象となるようご配慮いただきますようお願いいたします。(長寿命化の程度は各自治体の判断で行い、判断結果により修繕方法を決定できるなど)

②-1 地域の現状と抱える課題

鳥取県岩美町

○ 現状

鳥取県の東部は、高速交通ネットワークの整備が遅れ、まさに「陸の孤島」状態となっており、住民の利便性並びに生活環境の向上にあらゆる方策を講じている地方自治体にとりまして、行政活動の大きな障害となっています。

加えて、高速交通ネットワークの整備の遅れは企業誘致、町内製品の販路拡大などに大きな負の要因ともなっており、地域間(産地間)競争において最初から大きなハンディキャップを負って戦っている現状です。

また、事業着手されたものの、当初の整備スケジュールが大幅に修正され、整備が嬉々として進まず、買収済用地が放置されたような状況となっていることは、景観上及び生活環境上も好ましい状況ではなく、住民の「不信感」や「非効率な無駄遣いのイメージ」に繋がっているものと考えます。

町内の労働人口の半数以上が鳥取市内へ車で通勤している状況であり、特に降雪期には通行の隘路となる駟馳山峠を越える通勤を避けるため、結婚等を契機に町外(主には鳥取市内)へ転出する若年層が増加しており、そうした若年層をターゲットとした定住対策のための町独自の補助制度を創設し実施していますが、肝心の駟馳山峠のトンネル化事業が未着手であり、早期にトンネル化していただくことを町民一同熱望しています。

○ 課題

限られた財源の中での当該事業財源確保という大きな難題はあるものの、日本中で最も高速交通ネットワークの整備が遅れ、いまだにそのネットワークの恩恵を享受することのない鳥取県東部、兵庫県北部の現状を十分にご賢察いただき、当該地域の高速交通ネットワークの早期整備、早期供用開始は、「国民の真に必要な道路整備」を担う国(国土交通省)の大きな責務であり、喫緊の課題であると認識いただき、財源の重点配備による整備をお願いします。

②-2 地域の目指すべき将来像

鳥取県岩美町

人が徒歩で移動していた時代から、車や列車で移動する時代へと遷り、道路や公共交通期間の整備により地域間の交流エリア、生活圏は拡大し続けています。

現在進んでいる高速交通ネットワークの整備により広域的な移動・交流が容易となることから、買い物や医療、スポーツ・レジャー施設などのサービスや施設利用が広域的に共有できるなど、大きな圏域での住民ニーズ対応が可能となり、それぞれの地方自治体が役割分担による特色を生かした施策の遂行が可能です。

また、高速交通ネットワークの整備により京阪神や山陽などとの時間的距離(移動・輸送時間)が短縮されることから町内産物、特に「新鮮さ」がその価格に大きく影響する海産物の販路の拡大が期待されますとともに、「世界ジオパークネットワーク」加盟を目指している山陰海岸・浦富海岸をはじめとする豊かな自然を有しながら、アクセスの悪さから減少傾向の続いている観光客、レジャー客などの入り込みが増加することも期待しています。

人工的なレジャー施設等を整備し集客を図るのではなく、この美しい貴重な地質遺産を守り、後世まで多くの人々がこの雄大な自然を体感、満喫できるように努めることがこの地に住む地元住民の責務であると認識し、高速交通ネットワークの整備と併行し、「アクセスが容易でしかも大自然が残っているいつまでも美しい岩美町づくり」を進めていき、整備完了に備えて参りたいと考えます。

③ 道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

鳥取県岩美町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・少子・高齢社会に対応した道路環境の整備	住民の高齢化により、町内各集落では地域消防力や近隣住民の相互扶助力など、緊急時や災害時の地域対応力が低下しております。 そうした中、緊急車両(消防車や救急車など)の進入が出来なかった集落内道路の整備(家屋移転を伴わない局部拡幅改良など)要望が各集落から出されるようになり、早急な対応が求められておりますが、現行補助制度ではこれらのニーズに十分に対応出来ないのが現状であります。 地域の実情に応じた小規模な道路整備に対する補助制度の創設につきましてご配慮をお願いいたします。 また、町では訪問看護ステーション事業(訪問看護や訪問入浴など)に加えて、一般の交通機関を利用することが困難な高齢者を対象に、居宅と町内医療機関等の間を移送する事業(高齢者等移送サービス事業)を実施しております。 いずれも車を利用する事業実施でありますので、効率的かつ安全な事業実施(運行)のためには、高速交通ネットワークの整備と併せて、町内の道路[町・県・国道(県管理)]の整備は重要なものであります。 引き続き、「道路は重要な福祉インフラ」とであると認識いただき、道路整備事業に対する補助につきまして特段のご配慮をお願いいたします。	高齢者が住み慣れた自宅や地域で安心して穏やかに暮らしていける地域づくりが可能となります。	

③ 道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

鳥取県岩美町

○重点事項 ・高速道路ネットワークの確立	○代表事例 鳥取県東部、兵庫県北部但馬、京都府北部地域は、ともに「高速道路ネットワークの未整備地域」という大きなハンディキャップを負いながらも、「地域の生き残り」を賭け、様々に地域振興に取り組んでいます。 これら地域を結び、強い地方圏の形成を育む地域高規格道路「鳥取豊岡宮津自動車道」の整備の遅れは、まさに、これらの地域にとりまして「地域社会の存続」を左右する大きなマイナス要因となっています。 地域高規格道路「鳥取豊岡宮津自動車道」の全線供用開始により、これら3地域の広域的な観光、産業・経済活動が可能となることから、これら地域全体の活性化に大きく資するものと確信しています。 【観光】 これら3地域は、「山陰海岸国立公園」という観光資源を共有しており、現在、連携して「世界ジオパークネットワーク」加盟を目指す活動をしており、今後、ジオパーク加盟と併せて高速道路ネットワークの整備が進めば、これらの地域が実質的に結ばれることとなり、「一つの観光圏域」、「一つの自然学習のフィールド」として地域全体で全国、世界に大きくPRすることが可能となるとともに、都市部からのアクセスが容易になることから、圏域への入り込み客数の大幅増が期待されます。 【産業・経済】 高速道路ネットワークの整備は、物流面で大きなプラス効果をもたらすもので、特に、岩美町の主要産業であります水産業は、大きな消費地である「近畿圏」への物流時間が大幅に短縮されることから、新鮮さを売り物にした新たな「ブランド化(3地域共通ブランド化)」を図ることや、高速道路ネットワークを活用しての「販路拡大(3地域共通市場)」が可能となることから、結果的に圏域全体で水産物の付加価値が上がることを期待されます。 加えて、「高速道路ネットワークが未整備」という大きなハンディキャップを負いながらも積極的に取り組んできました「企業誘致活動」においても、今後、3地域が連携した大きな圏域での企業誘致が図れるなどの新たな取り組みが可能となるなど、産業・経済に及ぼす影響は計り知れない程大きなものです。	○期待する効果や評価等 豊かな自然環境を生かした観光、その他産業が振興し地域が活性化する。	○その他
-------------------------	--	--	------